

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2270
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	交通安全対策事業				
根拠法令等	道路法		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道 路
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市道全般に対して
手 段	側溝甲蓋・防護柵・カラー舗装を設置することにより
想定する成果	車両及び歩行者の通行の安全を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
側溝甲蓋設置	1,142m	24,464千円	712m	20,490千円	470m	19,416千円
防護柵設置	542m	4,156千円	399m	3,894千円	50m	500千円
道路標識設置	7箇所	560千円	2箇所	840千円	8箇所	800千円
カラー舗装	529m ²	4,935千円	297m ²	2,891千円	340m ²	3,400千円

成果指標

成果指標名	要望実施率	カラー舗装累積設置実績
成果指標の説明	実施箇所数 / 要望箇所数 × 100	カラー舗装累積設置実績

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			70.4%
	実績	67.5%	70.0%	
成果指標	計画			9,828m ²
	実績	9,191m ²	9,488m ²	
事業費	事業費	34,115	28,115	24,116
	人件費	6,435	5,449	3,945
	(人数)	0.8	0.7	0.5
	合計	40,550	33,564	28,061
財源内訳	国		1,100	
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	40,550	32,464	28,061

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	-	2	-	地元の要望により行っているが、ほぼ要望どおりできている。
経済効率性	3	-	3	-	必要最小限の予算で行っていて、それに見合った成果をあげている。
事務効率性	3	-	3	-	いろいろな業務を行っており、それに十分見合った成果を上げている。
必要性	3	-	3	-	現在の交通事情を考えれば、市民生活を安全に送るためには必要不可欠な事業である。
小計	11	-	11	-	
施策への貢献度	2	-	2	-	道路の通行の安全を図るためには効果のある事業である。
合計	13	-	13	-	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	-	A	-	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
経費の縮減を図るため、平成18年度は国の補助金(事業費の55%)をいただいて施工した。	1,100,000円

今後改善すべき点

幅員が狭い道路では、歩行者の通行の安全を図るため甲蓋を設置しその上を歩くようにしているが、甲蓋設置により側溝内に土砂等の堆積物の撤去が問題となっている、これを防ぐため土砂の堆積しにくい側溝の採用を検討していく必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

通学道路の未整備区間を優先的に行っていく。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2264
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	道路台帳記録整備事務事業		
根拠法令等	道路法第28条		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのある街づくり	道路
----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市道について
手 段	道路台帳を整備し変更事項を登載蓄積していく事により
想定する成果	市道に係るデータに基づく、各種行政執行に資する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
道路台帳修正路線数	177路線	100路線	
道路台帳修正路線数距離	25.60km	14.20km	

成果指標

成果指標名	建築認可申請受付件数	1m当りの道路台帳委託料
成果指標の説明	建築認可申請による接道等の確認件数	道路台帳修正委託料 / 道路台帳修正路線距離

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			
	実績	474件	509件	
成果指標	計画			
	実績	290円/m	395円/m	
事業費	事業費	7,422	5,614	5,856
	人件費	4,826	4,670	4,733
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	12,248	10,284	10,589
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	12,248	10,284	10,589

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	道路法に基づく調書及び図面は備えてある。
経済効率性	3	3	3	3	道路台帳修正については、委託により行っている。
事務効率性	2	2	2	2	土木建築等多様に利用できる。
必要性	3	3	3	3	道路法第28条により設けることになっている。
小計	11	11	11	11	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	13	11	13	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	道路法に基づく備え付け台帳のため、今後とも継続する必要がある。
------	---	---	---	---	---------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
18年度業務委託内容を精査した。	100,000円

今後改善すべき点

現在のバッジ処理プログラムからオンラインシステムにしたい。

平成20年度予算に反映する項目

上記に従い道路台帳管理システムに係る事業費を要求したい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路管理課	内線等	2262
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	境界査定事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道路
-----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	土地所有者のために
手 段	蒲郡市が管理する道路又は水路を測量することによって
想定する成果	財産の明確化を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
境界査定確定件数	272件	249件	
境界査定不調件数	2件	1件	

成果指標

成果指標名	境界査定確定件数	境界査定確定率
成果指標の説明	境界査定確定件数	境界査定確定件数/境界査定件数×100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			
	実績	272件	249件	
成果指標	計画			
	実績	99.3%	99.6%	
事業費	事業費	12,060	13,667	13,722
	人件費	18,501	21,795	22,089
	(人数)	2.3	2.8	2.8
	合計	30,561	35,462	35,811
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	35	56	30
	一般財源	30,526	35,406	35,781

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	査定件数のほぼ全件が確定（99.6%）している
経済効率性	2	2	2	2	投入した予算に見合った成果を上げている
事務効率性	2	2	2	2	投入した予算に見合った成果を上げている
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である
小計	10	10	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	住民からの要望に対応する事業で効果がある
合計	12	10	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度から官民境界の確認結果内容の事項を詳細に記しシステム管理の充実を図った 平成18年度から官民境界確定図のタイトルの統一をした 道路立会台帳図の整備 	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

<p>測量の世界で測量技術が発達し、高い精度の測量が可能になり、世界共通の基準で地理情報が利用できることに伴い、街区内の土地の境界を明確にして公共事業などを円滑に進めるために設けられた測量点の維持管理費の確保</p>
--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】